

【三越伊勢丹健康保険組合 大塚常務理事 コメント】



2026年6月の賞与要求につきまして、要求書の内容通り『満額回答』いたします。

三越伊勢丹グループの2025年度の業績は、4年連続過去最高の営業利益800億円を達成しました。健保においても、昨年度から第二期中長期計画がスタートしており、保険料率維持、経常収支4期連続黒字達成の見込みなど、中期計画は順調に推移しています。

しかしながら、本体の堅調な業績と、それに伴う一人当たりの報酬月額増にもかかわらず、被保険者数の減少により、本年度の健保の保険料収入は、減少に転じる見込みです。

さらに、エルダースタッフの増加等、社員の高齢化による医療費の増加に加え、本年度診療報酬の大幅な値上げもあり、健保の財政がより厳しくなっていくことは明らかです。

こうした状況を踏まえ、健保では、「三越伊勢丹グループの従業員と家族の人生を豊かにする健康サポート」を目指し、本年度から、40歳以下への特定保健指導、61歳時健診の補助金制度を導入し、従業員の健康を守る（重症化防止）取り組みをさらに進めてまいります。

いかに健康を維持しながら、心身ともに充実した会社生活を送ることができるか。これは、企業としても重要な課題であり、企業・労組・健保がともに、向き合っていく必要があると考えています。

グループ全体に健康経営が定着し、発展していくとともに、従業員とその家族が生涯健康に過ごしていくために、健保としても課題解決に一步ずつ取り組んでまいります。

今後も、労使で様々な課題や情報を共有させて頂きながら、対策を図っていきたく思いますので、引き続き、労働組合のご協力をよろしくお願いいたします。